



Title	沖縄の2型糖尿病男性の骨強度に影響を及ぼすライフスタイル(Review_審査要旨)
Author(s)	具志堅, 美智子
Citation	
Issue Date	2015-03-19
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/30602
Rights	

平成 27 年 2 月 5 日

琉球大学大学院

保健学研究科後期課程委員会 殿

論文審査委員

主査 氏 名 古謝 安子

副査 氏 名 福島 卓也

副査 氏 名 國吉 緑



学位（博士）論文審査及び学力確認の終了報告書

学位（博士）の申請に対し、学位論文の審査及び学力確認を終了したので、下記のとおり報告します。

記

申請者	氏 名 具志堅 美智子		
現住所			
成績評価	学位論文 <input checked="" type="radio"/> 合格 <input type="radio"/> 不合格	学力確認 <input checked="" type="radio"/> 合格 <input type="radio"/> 不合格	
論文題目	Heel bone strength is related to lifestyle factors in Okinawan men with type 2 diabetes mellitus (沖縄の 2 型糖尿病男性の骨強度に影響を及ぼすライフスタイル)		
審査要旨	<p>本論文は、2 型糖尿病患者と非糖尿病患者で骨強度に影響を及ぼす生活習慣因子について男性を対象に検討し、喫煙が踵骨強度の脆弱化に影響しているとの知見を得て論じており、博士論文に相応しいと判断し本審査での審議に諮ることを推薦した。近年、生活習慣病と骨粗鬆症との相互関連が明らかにされ、2 型糖尿病においては骨密度の高さに反する骨折リスクの上昇など骨質劣化が指摘されているが、それらは閉経と老化に伴う高齢女性を対象としたものが殆どであり、生活習慣が及ぼす影響に関するエビデンスは少ない現状にある。この点から生活習慣病に併存する骨脆弱化予防に視点をあて、2 型糖尿病男性の骨強度に影響を及ぼす生活習慣をとりあげて治療状況との関連もみている本研究は一定の評価ができると考えた。また 2 型糖尿病患者の適切な分析対象選別のプロトコルを定めた研究デザインの作成、適切な統計解析手法の使用</p>		

から博士論文に値する研究内容であることも判断された。

予備審査において以下の3点を本審査までに改善することを助言したが、最終審査において改善が見られた。(1)2型糖尿病患者と非糖尿病患者の年齢別骨強度を骨折経験の有無別に図表を作成しその意義を述べることによって、骨強度と骨脆弱性の関連がみえ本研究の意義は高まると考える。(2)分析に用いた統計手法の手順と結果の解釈を明確に示し、説明することで審議を容易にする。(3)糖尿病と骨強度、骨強度と喫煙を扱った先行研究があるなかで、本研究の新規性や価値、今後の研究の方向性に言及することが本審査では重要である。

最終審査において、国内外の文献を読み込んだ糖尿病と骨折リスク上昇の機序や統計手法の説明、研究の意義と今後の発展性が述べられた。特に2型糖尿病患者の骨強度に影響を及ぼす生活習慣因子が喫煙であり、これらの課題解明や糖尿病療養指導に寄与することが期待されることになり、博士を授与するに値する研究者と考えられた。